

等に関する質疑・意見があった。総論として、サービスの向上及び事業収入は堅調に推移しており、施設の管理運営は概ね適切になされているとの意見であった。

(5) 主な質疑

- ア (質問) 共用機器は 10 年も経つと修繕や更新が必要かと思うが長期間利用されていない機器も含めどのように判断するか。
- (回答) 稼働率の高い機器に関しては収入にも関わるため、優先的に修繕を行っている。利用状況や、近隣の施設の機器設置状況も踏まえ更新や処分の検討を進めていく必要がある。
- (意見) 近隣で利用できる共用機器があれば全ての機器を持つ必要はないのではないか。
- イ (質問) 台風時の雨漏りは、引き続き状況を確認する必要があると課題としてあげられているが、改善はされたか。
- (回答) パテ埋め等の修繕を行っているが、台風や横風が吹く時に雨漏りが発生するため、原因が特定できず、経過観察となっている。
- ウ (質問) 長期的な修繕計画に関して、県と指定管理者はどのように連携しているか。
- (回答) 事業計画を作るにあたって、指定管理者から修繕に関するヒヤリングを行い、優先度の高いものから修繕を行っている。
- (意見) 色々な要因が重なり、今年は半導体等の部品の納品が遅れている。入居者に迷惑がからないよう指定管理者と充分調整すること。
- エ (意見) 共用機器の更新に関しては 1 年間使われなかった物などは必要性の有無を見直す必要がある。
- 使われなかった物がある一方で、非常に多く使われている機器、例えば棚式大型凍結乾燥機や 90L 自動培養装置、使用頻度の高い機器は壊れると相当大変なことになるため、機器更新時にこういった利用頻度の高いものに関しては複数台そろえる検討をしてはどうか。
- オ (質問) 財務関係で人件費が前年比 40% 減となっているが、人件費を減らすことでサービスの低下にならないか。
- (回答) 指定管理の制度を変更する際、令和 3 年度より入居者等支援業務を県の委託事業として分離された。別の委託となった分、人件費と業務が減ったが必要なサービスは引き続き提供する。
- カ (質問) 現時点で入居率 100% だが、新たに受け入れができない状況。入居希望企業は待っている状態なのか。

- (回答) 空き室がでるとすぐに入居希望がでる状況である。入居の審査を行う際は公正な審査基準に則って判断している。
- (意見) インキュベーション施設の性格、設置目的等を踏まえて入居期限や料金を段階的に見直してはどうか。
- キ (質問) 当センターの防火管理者はどのような仕組みか。指定管理者と企業との連携はどうか。年に1回の避難訓練だけでは脆弱である。地震津波に対する訓練が気になる。
- (回答) 防火管理者は指定管理者の職員となっており、センター全体で自衛消防団を立ち上げている。過去に近隣小学校や商業施設に避難する訓練を実施しており、近くだと避難タワーがあり、一時避難場所は決められていて、周知されている。
- (意見) 車で橋を渡る場合、3カ所橋があり渋滞で動かなくなると思われる。
- ク (意見) 建物の増設やスペースが増えることが望ましい。
- (回答) 箱物を作るのは簡単ではないので、入居スペースや共用機器含め、近隣のインキュベーション施設と連携をして、利便性が増すような工夫ができればと考えている。
- (意見) 利用者にとってメリットになる施策を県には考えてほしい。
- ケ (意見) 入居者の立場で社員に施設運営に関して聞いてみたところ、非常に満足度が高く、全員満足だということ。仕事もしやすい環境だということで、これを維持してほしいと要望があった。